

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 15 日

事務事業名		ふれあい生きいきサロン事業					事業区分		担当	
							新規/継続	継続	事務事業No.	010601000010
							単独/補助	補助	所属課	040501
政策体系	総合計画の施策名	0106 高齢者福祉の推進								高齢福祉課
	政策名	01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり							課長名	
	施策名	06 高齢者福祉の推進							グループ	高齢福祉グループ
	手段名	01 ①高齢者の生きがいがいつくりの推進							担当者名	
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	介護保険特別会計			
	06	05	01	80	01	00	一般介護予防事業			
法令根拠						介護保険法				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 地域の公民館や集会場を利用し、ボランティア (シルバーリハビリ体操指導士、看護師) 等の協力を得ながら健康体操の指導や健康相談等を実施し、閉じこもり防止、介護予防に寄与する。事業の実施については、桜川市社会福祉協議会に委託している。岩瀬・大和地区合同、真壁地区で年1回運動会を実施している。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 【担当者が行う業務の内容】 委託契約事務、月次実績報告受付、支払事務、新規実施地区との協議、事業内容の検討

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
委託契約事務、月次実績報告受付、支払事務、新規実施地区との協議、事業内容の検討	生きいきサロンの開催数	回	270.00	200.00	270.00	270.00	27.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
65歳以上の高齢者	高齢者人口 (65歳以上)	人	13,278.00	13,408.00	13,505.00	13,557.00	13,608.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
閉じこもり防止と健康増進を図る。	生きいきサロンの延べ参加者数	人	3,500.00	2,500.00	3,500.00	3,500.00	3,500.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)		期間限定 総投入量	
投入量	事業費 財源内訳	国庫支出金	千円	1,750	1,737	1,363	0
		県支出金	千円	875	868	681	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	3,500	3,474	2,725	0
		一般財源	千円	875	868	681	0
		事業費計 (A)	千円	7,000	6,947	5,450	0
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人		

01年度事業費 実績 (千円)		02年度事業費 予算 (千円)	
13 委託料	6,947	13 委託料	5,450
	合計	合計	5,450

事務事業名	ふれあい生きいきサロン事業	事務事業No.	10601000010	所属課	高齢福祉課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 家に閉じこもりがちな高齢者、要介護状態になる恐れのある高齢者等に対し、介護予防を目的に平成15年から開始しされ、岩瀬15会場、真壁5会場、大和2会場で開催していたが、参加者の減少により岩瀬地区で3地区が休止となっている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 開催日を楽しみにしている。各地区集会場等身近な場所でおこなっているので行きやすい。（利用者） 参加者の高齢化が進んでおり、新たな参加者が少ない。交通の問題もある。（委託先）					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 高齢者の閉じこもり防止、生きがいつくりに寄与することで、高齢者福祉の向上に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である この事業が介護予防に寄与し、地域社会で自立した生活を送ることでできるよつにすることは市の高齢者福祉の目標となっている。
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 岩瀬・大和・真壁とそれぞれの地区で開催されているが、参加人数が減少している会場があるため、積極的な周知により新規参加者を増やすことで事業成果の向上余地はある。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 定期的な事業開催により参加者の目的意識があるため、事業廃止は、高齢者福祉の衰退につながる。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 会場の見直し、地区主体のサロンの実施、ボランティアの活用により事業費の削減余地がある。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 地区の公民館等で開催し、高齢者なら誰でも参加できるので、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	身近な場所でのつながりづくり、また介護予防活動はとても重要な地域づくりである。しかし、会場の休止や参加者の減少が著明にみられている。今後は運営管理の再検討や周知方法を検討し、参加者増加を目指す必要がある。令和2年度より事業費の見直しとなった。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 参加者の高齢化が進み参加者の減少や交通の問題があるが、新たな参加者に向けた周知活動も行っていない。また、会場により冷暖房完備が整っておらず、休止する時期がある。内容の見直しや合同サロンの検討、周知活動について委託先と検討を進める。効果的に行えているか参加者へ効果の評価を行う必要がある。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果		コスト			削減	維持	増加	向上					維持					低下	○			
成果		コスト																								
		削減	維持	増加																						
向上																										
維持																										
低下	○																									
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ①																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>